



三小だより

教育目標

かしこい子
やさしい子
たくましい子

栃木第三小学校だより

令和2年

12月18日発行

文責 学校長[服部]

長かった2学期が終了

91日という今までにない長い2学期もまもなく終了となります。

残暑というより、酷暑が厳しい8月17日(月)から2学期が始まりました。子供たちの中には、朝登校したときから、汗びっしょりになっている子もいて、登下校中は、前後の間隔を空けながら、マスクを外してもよいことにしました。また、途中安全に気を付けながら、水分補給をしてもよいことにしました。

教室での活動は、エアコンをつけることで対応しました。換気をしながらなので、少し効きが悪いですが、涼しく過ごすことができました。外は、暑くて体育は水泳ぐらいしかできないような状態でした。今年は密を避けるために、1クラスずつしかプールに入ることができなかったため、1週間に入る回数は少なかったのですが、長い期間入ることができ、結局例年と同じぐらいプールに入ることができました。昼休みはとても暑く、WBGT(暑さ指数)が度々危険レベルになってしまい、室内で過ごすことを余儀なくされる時もありました。

1学期には実施できなかった活動も、様々な感染症対策を行いながら実施するようになってきました。その活動のいくつかを紹介します。



種から育てた葉ボタンがこんなに大きくなりました



部活動



普通清掃



理科実験



笛・鍵盤ハーモニカ



調理実習



アルミ缶回収



学校公開日



放課後教室



読み聞かせ

何でも見合わせるのではなく、どのような対策を施せば実施が可能なのかを前向きに考え、活動できる場面を増やしています。

ただ気の緩みを感じる場面が見られるようになってきたので、11月後半から、教職員も児童も、もう一度自分の行動をふり返り、正しい消毒や換気、三密を避ける行動を呼び掛けています。巷では、第三波が起きていて、毎日のように感染者数や重傷患者数が過去最高を記録するというニュースが報道されています。これから年末年始を迎えますが、例年と違った過ごし方を考えていくように児童に呼び掛けていきたいと思えます。

個人面談

例年は夏休みに行っていた個人面談ですが、今年は夏休みが短かったため、12月14日(月)から個人面談を行っています。保護者の方々とじっくり

話をする良い機会と考えています。学校の様子をお知らせするとともに、お子様についての悩みや家庭と学校で連携していくところを前向きに話し合っていきたいと考えています。感染症対策として、どのクラスにもパーティションを用意し、マスク着用で面談を行っています。



本校ならではの教育

子供例幣使行列

本校の学区内を南北に通っている嘉右衛門町通りは、江戸時代京都から日光へ向かう例幣使が通る例幣使街道として栄えていました。現在も古い町並みが残るこの地区は、「嘉右衛門町重要伝統的建造物保存地区」として国から選定を受けています。学校では、4年生が総合的な学習の時間に、自分たちが住む地域の歴史を知り、これからの町づくりを考えていく学習に取り組んでいます。5年前、「栃木の例幣使街道を考える会」の方々とタイアップして、子供たちが当時の行列の様子を再現し体験する活動を行うようになりました。

今年はコロナ禍のため実施が危ぶまれていましたが、衣装を着回ししないで済むように、ボランティアの方が新しく作ってくださったり、集合や休憩がに幣帛（へいはく）を奉納する勅使（使密にならないように広い場所やルートを考え直した者）のことでりしながら何とか11月27日（金）に「第6回子供例幣使行列」を実施することができました。子供たちの安全確保のため、「栃木の例幣使街道を考える会」の方々や自治会長の皆様が車の誘導を行ってくださいました。おかげで子供たちが安全に行列を行うことができました。ありがとうございました。また、行列の最中、考える会の大島和郎様が、見学するの方々に例幣使行列のことをマイクで説明してくださり、地域の方々にも行列のことを知ってもらう良い機会となりました。子供たちは「昔の行列の様子が少し分かりました。」「思っていたより歩き方が難しく、



大変だった。」「今の3年生にこの行列のことを伝えたい。」「この伝統ある町を大切にしたい。」などの感想をまとめていました。

小中一貫教育

栃東中新入生学校説明会

12月14日（月）に東中の新入生学校説明会が開かれました。6年生が中学校に進学するに当たり、中学校のことを知ることで、安心して入学を迎えられるようにするために行いました。今年は感染症対策のため、部活動見学はありませんでしたが、生徒会役員による学校生活の説明や、1年生徒及び先生から1年生の各種活動について説明がありました。また、少人数に分かれて、体験授業を行いました。



とちぎ未来アシストネットの活動 …地域の絆が深まっています

衣装づくりボランティア

「子供例幣使行列」の衣装は、今まで全員分なかったので、毎年役割によっては、途中で交替して使っていました。それでは、感染症のリスクが上がってしまいます。今年が6年目ということで、傷んでしまっている物もあったので、全員に行き渡るように作り直しました。8名のボランティアの方が、2時間以上掛け、上の衣装を3着、下の衣装を60着も作っていただきました。おかげで、立派ないでたちで、途中着替えることもなく「子供例幣使行列」を行うことができました。ありがとうございました。



通学路変更

12月7日から、一部の通学路を変更しました。道路事情が変わってきたことを考え、より安全で、密にならないように通学路の見直しを行い、お試し期間を経て、今回の変更に至りました。安全に登校できているか安全を確認するため、PTA本部役員の方々や地域の方が朝の登校の様子を見守ってくれています。

